

# 上津浦川河川整備計画

平成 11 年 8 月

熊 本 県

# 上津浦川河川整備計画

## 目 次

	ページ
第1章流域と河川の現況 -----	1
第1節上津浦川流域の概要 -----	1
第2節上津浦川の現況 -----	2
第2章河川整備計画の目標に関する事項 -----	3
第1節計画対象区間 -----	3
第2節計画対象期間 -----	3
第3節洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項 -----	3
第4節河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項 -----	3
第5節河川環境の整備と保全に関する事項 -----	3
第3章河川整備の実施に関する事項 -----	4
第1節河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の 施工により設置される河川管理施設の機能の概要 -----	4
第2節その他の河川整備を総合的に行うために必要な事項 -----	5

## 第1章 流域と河川の現況

### 第1節 上津浦川流域の概要

上津浦川水系は、その源を熊本県天草郡有明町の老岳に発し、江河内川等の支川を合わせ、有明町大字上津浦において島原湾に注いでいる。

その流域は有明町に属し、流域面積6.1km<sup>2</sup>、幹川流路延長4.2kmの二級河川である。

気候は、周囲を海に囲まれ、北上する対馬暖流の影響を受け、冬は暖かく夏は比較的涼しい海洋性の気候を示す。しかし、梅雨期や台風期に降雨が集中するという特徴をもっている。流域の年平均降雨量は2,010mm、年平均気温は16.7°Cである。

流域の地質は主として、古第三紀の教良木層であり、泥岩及び砂岩と共に貫入する流紋岩から構成され、岩質は硬質である。また、河川沿い及び斜面末端には崖錐堆積物の分布が見られるため、砂防河川の指定を受けている。

流域では、縄文・弥生・古墳時代の遺物が出土しており約1万年前から人が住んでいたと考えられる。中世以降は、天草五人衆の一人、上津浦氏の本拠地があり、隠れキリシタンなど歴史の深い地域であるため、上津浦城跡地・ロザリオの聖母子銅牌等の文化財が現存している。

上津浦流域の土地利用状況は、総面積の69%が林野であり、19%が水田である。宅地は上津浦川の中下流部に集中している。

また、上津浦川流域は鳥獣保護区域に、老岳神社周辺は緑地環境保全地域に指定されており、豊かな自然環境に恵まれた地域である。その他、谷合橋より上流は砂防指定区間となっており、老岳を中心に保安林にも多数指定されている。また、流域の森林のほとんどが地域森林計画区域に指定されている。

流域の属する有明町の人口は、昭和22年をピークに減少傾向にあり、特に高度経済成長期の昭和40年から45年には、若年層などの流出により17%も減少した。近年、その減り方は鈍くなっている。

有明町の産業は、豊かな自然と温暖な気候を生かした農業、有明海の恵みを受ける漁業が有明町の基幹産業である。農業は早期水稻が柱で、その他みかんやイチゴ、インゲン、ミニトマトなどの町の特性にあった作物が栽培されている。

## 第2節上津浦川の現況

上津浦川の治水事業は、局部改良事業(S38～S48)により、横浜橋下流より下流約520m区間の改修が行われており、また、局部的に災害復旧工事が行われているが、その他の区間については抜本的な改修は実施されておらず、十分な整備状況にまで達していない。そのため、多くの区間で洪水を流下させる能力の不足が見られる。

昭和47年7月豪雨、昭和57年7月豪雨等の洪水時には、床上浸水等の被害が発生しており、重要な生命・財産を洪水被害から守る治水計画の立案・実施が急務となっている。

上津浦川水系の利水施設は、上津浦川本川で16ヶ所の取水堰が存在し33.6haの水田へと灌漑されている。また、支川の江河内川では、水田1.2haの灌漑取水が行われているほか、水道用水として400m<sup>3</sup>/日の取水が行われている。

しかし、その取水は、天候に大きく左右される不安定なものであり、昭和53年、平成元年、平成6年等の渇水時には河川が涸渇し、生活用水などに不足が生じている。そのため、用水の安定利用が求められている。

上津浦川の水量は、谷合橋地点で1/10渇水流量約 0.11m<sup>3</sup>/s/100km<sup>2</sup>と全国の河川における流量の平均より少ない状況である。

水質については、谷合橋地点などの水質調査では、BODは概ねA類型(2ppm)相当で良好な水質となっている。

鳥類ではコサギ・ヒヨドリ等の25種が確認されているが、上津浦川は小規模河川で海岸、耕地、山林が近接しており、海、河川、農耕地の生物を食餌とする種が混在している。

魚類は、カワムツ・ヨシノボリ・メダカが確認されたほか計9種が確認されている。また、横浜橋から晩田橋下流がホタルの生息地となっており、その餌となるカワニナも生息している。

川沿いの道路は、農作業のための通り道や散歩に利用されているが、ほぼ全川にわたって急勾配の護岸となっており、水辺へは近づきにくく、また、高水敷もなく、河川空間としての利用はない。

## 第2章河川整備計画の目標に関する事項

### 第1節計画対象区間

河口から熊本県天草郡有明町大字上津浦字大曲り、中野河内地点（ダム地点）までとする。（図 河川工事位置図 参照）

### 第2節計画対象期間

計画策定から概ね平成20年度までとする。

### 第3節洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

戦後最大洪水である昭和57年7月豪雨を踏まえ、30年に一回程度発生する規模の洪水に対し、家屋浸水を防止することを目標とする。

### 第4節河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

河川の水利用については、水道用水の需要の増大が見込まれるため、上流に建設する上津浦ダムにより確保される水源を有効に活用し、水資源の合理的な利用の促進を図る。

また、流水の正常な機能の維持に必要な流量は、利水の現況及び流水の清潔の保持等を考慮し、10年に一回程度発生する渇水時においても以下に示す流量を谷合橋地点において確保するものとする。

地点名	4月13日～4月20日	4月21日～8月5日	8月6日～4月12日	備考
谷合橋	0.069 m <sup>3</sup> /s	0.044 m <sup>3</sup> /s	0.009 m <sup>3</sup> /s	基準地点

表 流水の正常な機能の維持に必要な流量

### 第5節河川環境の整備と保全に関する事項

上津浦ダムの建設による河川や周辺の自然環境への影響や工事に伴う影響を軽減することにより、上津浦川水系の河川環境の保全を図る。

また、流水の清潔の保持、景観、魚類等動植物の生息地、生育地の状況等も総合的に考慮した流量（第4節の流水の正常な機能の維持に必要な流量のうち水利流量を除いた流量0.009 m<sup>3</sup>/s）をダムにより確保し、河川環境の整備と保全を図る。

### 第3章河川の整備の実施に関する事項

#### 第1節河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により

##### 設置される河川管理施設の機能の概要

###### 第1項河川工事の目的、種類及び施行の場所

河川整備基本方針に位置付けられている河川改修とダム建設のうち、有明町大字上津浦地先に建設される上津浦ダムにより30年に一回程度発生する規模の洪水を調節し、谷合橋地点の流量を63m<sup>3</sup>/sから44m<sup>3</sup>/sに低減することにより、下流の家屋浸水を防止する。

上津浦ダムにより、新たな水道用水の確保を行うとともに、10年に一回程度発生する渇水時においても、流水の正常な機能の維持を図る。

###### 第2項河川管理施設の機能

###### 上津浦ダム

###### (1)ダム本体

位 置：左岸 熊本県天草郡有明町大字上津浦字大曲り  
右岸 熊本県天草郡有明町大字上津浦字中野河内  
型 式：重力式コンクリートダム  
堤 高：約 54.0 m  
堤 頂 長：約 205.0 m  
総貯水容量：約 467,000 m<sup>3</sup>  
湛水面積：約 2.5 ha (図 貯水池平面図 参照)  
設 置 目 的：洪水調節、不特定用水の補給、新規水道用水の補給

###### (2)導水施設

位 置：左岸 熊本県天草郡有明町大字上津浦字中尾  
右岸 熊本県天草郡有明町大字上津浦字大田尾  
型 式：コンクリート固定堰  
堤 高：約 6.0 m  
堤 頂 長：約 29.0 m  
設 置 目 的：洪水等の導水

## 第2節その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

### 第1項超過洪水対策

出水時は、地域の自主的な水防活動や避難経路の確保等に資する降雨、水位情報等の災害情報のきめ細かい提供を行う。

平常時は、浸水予想区域図等の作成・公表等災害情報の提供を推進するとともに、地域が主体となり推進する避難地・避難路等を明示したハザードマップの作成・公表を積極的に支援する。また、防災意識の啓発・高揚を図るため、住民参加型の防災教育、訓練を支援する。

### 第2項河川情報の提供、流域における取り組みへの支援等に関する事項

上津浦川の豊かな自然環境を保全し、将来へ良好な姿で引き継いでゆくためには、地域住民の理解と協力が不可欠である。特に、有明町総合計画では「人と自然が輝くふれあいのまち」をまちづくりのシンボルテーマとして掲げており、主体となる沿川住民の参加のもとに整備を進めなければならない。

このためには、河川と流域住民との連帯化、河川愛護思想の定着と啓発を推進し、住民参加による河川の整備、維持管理を行う必要がある。

そのための方策として、川に関するあらゆる情報を提供し、地域社会（川に関わる人々）との連携を図り、その活動を積極的に支援していくものとする。

上津浦川河川整備計画  
(図面集)

平成11年8月

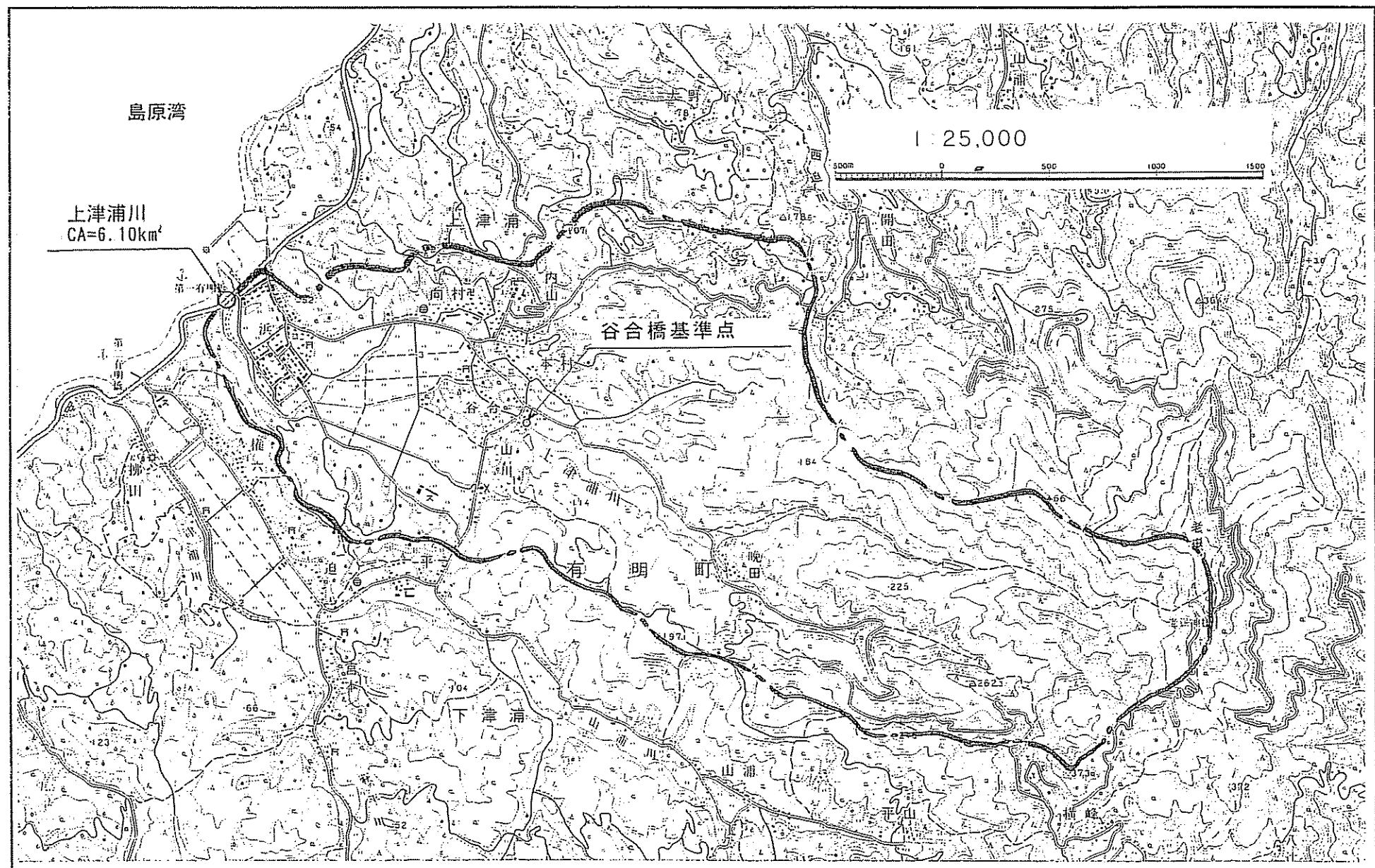
熊本県

上津浦川河川整備計画  
(図表集)

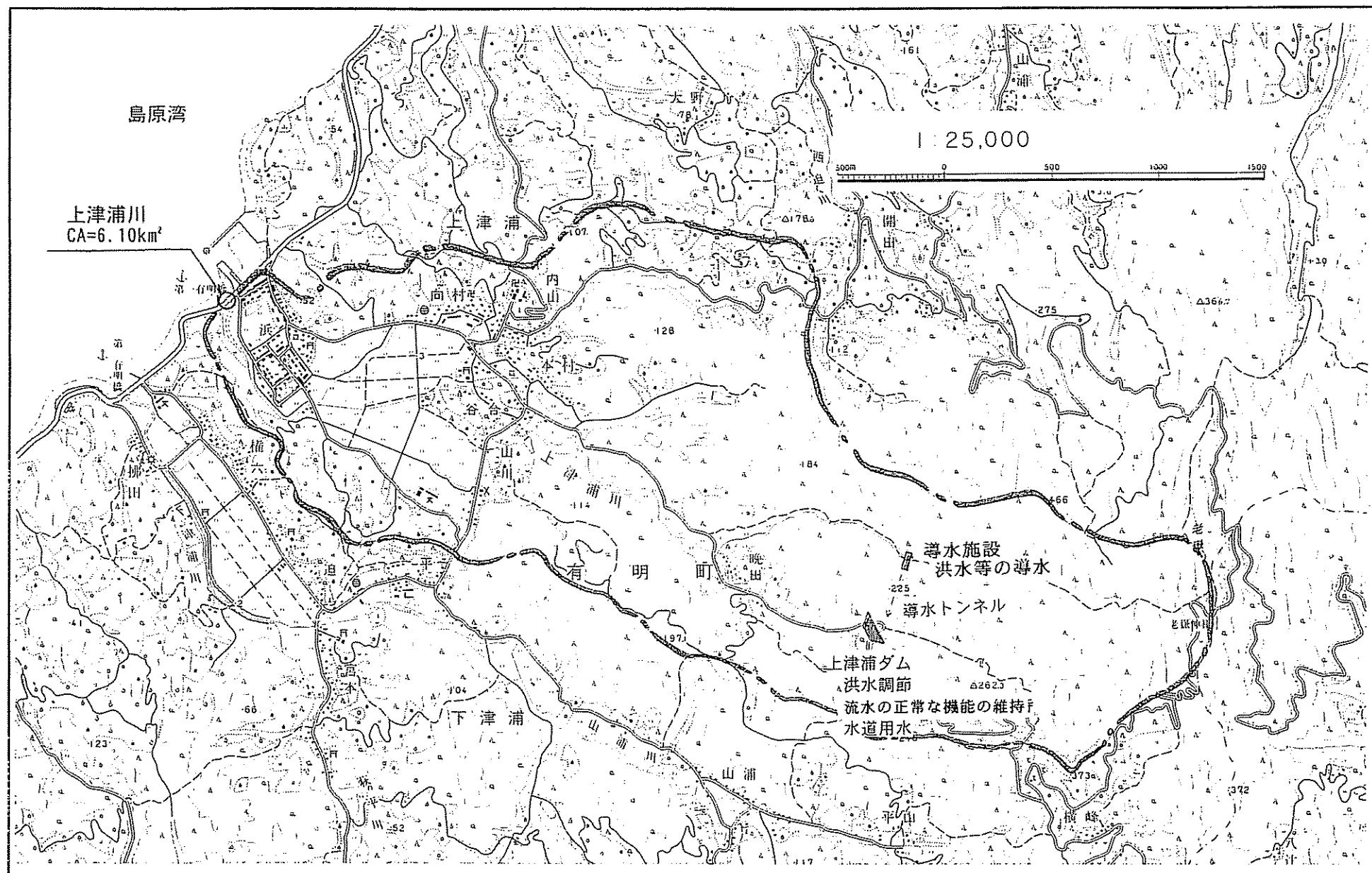
目 次

ページ

流域概要図	1
河川工事位置図	2
ダム平面図	3
ダム横断図(下流面)	4
ダム標準断面	5
貯水地平面図	6



上津浦川流域概要図



### 河川工事位置図